

とこなめデジタル化推進宣言

TOKONAME Digital Transformation

人口減少、多様化する社会において、これまでの行政サービスをそのまま継続していくことは困難になっていくことが予想されます。また、新型コロナウイルス感染症により、社会の在り方や市民の生活スタイルにも大きな変化が出ており、デジタル技術が急速に進展するなか、これまで見直すことが難しかった業務や市民サービスの在り方を抜本的に変えることが求められています。

常滑市では、こうした状況を市民の暮らしや行政の在り方を変革する契機と捉え、「デジタル技術を通じて社会・経済・生活をより良い方向に導くこと」とされているDX(デジタルトランスフォーメーション)の推進をスタートさせます。

本市では、市民の皆さんに「ずっと住み続けたいまち」「ずっと常滑。」と置いていただけるまちづくりの実現に向け、デジタル技術を「手段」として活用していくなかで、「市民の手間」・「業務の無駄」をなくし、「市民の利便性向上」・「職員の働き方改革」の実現を図るなど、価値あるデジタル化を目指します。

また、業務のデジタル化を進めるだけでなく、必要に応じてその在り方から見直しを行い、課題解決を図ることで暮らしの質や価値を高めていきます。

デジタル化の推進にあたっては、デジタル技術を使いこなすことが困難な方に配慮し、人にやさしいまちづくりに取り組みます。

2021年3月 常滑市長 伊藤 辰矢



デジタル化推進の3つの柱

「市民サービス」 のデジタル化

市民目線でデジタル技術を活用することにより「市民の手間」を省くなど便利で安心な市民サービスの実現を目指します。

「行政運営」 のデジタル化

デジタル技術を活用して「業務の無駄」をなくすなど効率的な行政運営を行うことで余力を生み出し、市民に寄り添うサービスに注力します。

「地域社会」 のデジタル化

デジタル技術を活用して国内外への情報発信・マーケティングを戦略的に展開するとともに、スーパーシティ構想に向けた取組を推進します。

主要な取組

- 行政手続のオンライン化
- 窓口手続・申請手続の簡素化
- チャットボットによる24時間問合せ対応
- キャッシュレス決済の推進
- マイナンバーカードの普及・活用
- 情報セキュリティ対策の徹底
- GIGAスクール構想の推進

- 専門部署の設置・外部人材の活用
- 業務フローの最適化・承認プロセスの簡素化
- 書類のペーパーレス化・電子保管の推進
- AI・RPA等業務効率化ツールの活用
- ビジネスチャットツールの活用によるコミュニケーションの活性化
- テレワークの推進
- 情報システムの標準化・クラウド化の推進

- SNS・動画等を活用した情報発信・プロモーション
- デジタルマーケティングの推進
- オープンデータ化の推進
- スーパーシティ構想に向けた取組の推進
- デジタルによる市民参画の推進
- デジタル格差の解消

具体的取組の検討